

令和6年度

事業計画書

社会福祉法人 藤英会

## I.施設理念

～ のびのび 明るく 穏やかな暮らし ～

## II 施設方針

1. 一人でも多くの方に<家としての暮らしの場>を提供することが私たちの使命です。
2. スタッフは<心をつなぐ>にし、ご利用者様の暮らしに寄り添ってまいります。
3. ご利用者様のお話を丁寧に聞き、ご家族参加型の施設運営を目指します。
4. 地域の皆様に、お気軽にご利用いただき、また育てていただけるよう取り組んでいきます。
5. スタッフ一人一人の<やる気>と<向上>を支援するためのシステムを整えております。

## III. 事業方針

介護業界を取り巻く環境は大きく変化しています。

2025年問題は後1年に迫り、続いて2040年問題もあり先行きは不安要素ばかりです。加えここ1,2年の物価および光熱費の高騰は介護報酬の改定では追いつかず経営状態をも左右する大きな問題になっています。

不安定なこのような時は大規模法人が有利になりますが、単独施設でも価値を高め地域のニーズをしっかりと捉え、みどりの丘でしかできない唯一無二のサービスを提供することで安定した利用者を獲得し、高稼働率の維持を図ります。

今後も人手不足の解消は望むことはできませんので技能実習生、特定技能の受け入れを行います。現在は6名配置することで人員確保に余裕が出るようになりました。よりよいサービスを提供するためにも今後も外国人介護人材を活用していきます。

#### IV.事業目標

- (1) 地域のニーズを把握し必要とされる施設運営を行います。
- (2) 介護DXにより業務効率化を図り職員の負担軽減に繋がります。
- (3) 外国人雇用など多様な人材確保により安定したサービスを提供していきます。
- (4) 自然災害と感染症のBCPを継続し持続可能な運営を行います。
- (5) 各部署の努力により選ばれる施設を意識し、高稼働率の維持に繋がります。

#### V.事業実施計画

##### (1) 介護老人福祉施設事業

###### ① 夢を諦めない施設での暮らし

年齢を重ねることや介護が必要になったことで失われることが多くなります。残存機能を活かしながらやりたいこと、できることを見つけ夢を持ちつづけていけるような支援を行います。

###### ② 川崎で一番楽しいショートステイへ

ショートを利用しても「つまらなかった」「何もすることがなかった」「ただ座っているだけ」そんな声が多く聞かれます。みどりの丘では日中を活動的に過ごすことで「楽しい」「ぐっすり眠れる」「ご飯が美味しい」と満足して頂けるサービスを行います。ご家族様都合の利用からご本人が「行きたい」と意思決定ができるような楽しいショートを実現していきます。

###### ③ 介護職の社会評価の向上

2022年よりSDGS活動および脱炭素活動で社会と繋がってきました。今年度もおむつのゴミ問題に取り組んでいきます。成果や数字を重視するのではなく入居者様の生き方に焦点を合わせます。入居者様の生活向上とゴミの減量の両立を目指しながら社会貢献する介護を取り入れていきます。この活動を通し社会と繋がり、介護職の社会評価の向上に努めます。

###### ④ 目標稼働率

上記の取り組みにより入居稼働率はユニット98%・従来型91%、空所利用と合わせ、年間稼働率98%を目指します。

## (2) 短期入所生活介護事業所

### ① スマイルステイを軸としたサービスの提供

10月より「スマイルステイ」として、新たな体制でスタートをいたしました。「利用しても横になっているだけ」というショートステイではなく、活動的に過ごしていただくことで、元気にご帰宅いただけるような「スマイルステイ」を目指しています。

### ② 緊急の受け入れ

緊急でお困りの方の受け皿として、空所利用も活用し、当日を含めた緊急での受け入れ、またインシュリンや透析、在宅酸素の方など他の施設では断られる医療依存度が高い方への受け入れなど、365日柔軟に対応していきます。

### ③ 稼働率

新型コロナも第5類となり、社会も日常の活気を取り戻しつつあります。そうした背景の中で、上記の取り組みより、令和6年はスマイルステイのプロジェクトを推進し、新規利用者の増加や既存のサービス向上を見込み、140%以上の稼働率を目指していきます。

## (3) 居宅介護支援事業所

① 法人に属している居宅介護支援事業所の使命を念頭に置き、藤英会の一事業所として、連携の強化を続けていきます。在宅生活から施設入所までの切れ目のない援助を行えるよう、特養へ繋ぐ架け橋となる役割を果たせるように努めます。

② 常にご利用者様の立場にたち、何が今必要とされているかを一緒に考え、対応できるよう努めます。利用者、家族との信頼関係を築けるよう努めます。

③ 専門職として業務を的確に行えるよう、研修会などに積極的に参加し、スキルアップをはかります。

④ 稼働率100%を維持できるように努めます。

## VI.介護サービス指針

### ① 笑顔あふれる施設

利用者の方、ご家族様、ボランティアさん、業者の方、そして働く職員ひとり一人みどりの丘すべての人が笑顔になれるように努めます。

### ② スマイル・ステイで地域を元気に

この地域でどの施設よりも充実したショート「スマイル・ステイ」が在宅介護を担っているご家族様への応援団となり、地域を元気にします。

### ③ 途切れることがない介護サービス

感染症との戦い、正月に起きた能登地震などいつ起きるかわからない災害に備えBCPの研修を重ねてきました。何が起きてもやめることが出来ないのが施設運営であることを理解し、途切れることがない介護サービスを提供します。

### ④ 安定したサービス

職員の9割以上が正職であることでコロナクラスター発生時でも人員不足に陥らず乗り切ることができました。この強みを活かし安定したサービスを提供していきます。

## VII.提供するサービス内容

### (1) 行事・イベント

4月	お花見（施設周辺）	お刺身定食
5月	端午の節句	筍ご飯
6月	開設記念日	松花堂弁当
7月	七夕	土用の丑の日（うなぎ）
8月	花火大会	
9月	敬老会	お祝い御前
10月	お月見	
11月	秋まつり	屋台メニュー
12月	クリスマス会	クリスマスメニュー
1月	お正月	おせち・お汁粉
2月	節分	節分メニュー（鯛、大豆）
3月	ひな祭り	ちらし寿司
イベント	フロア別に企画	
外出レク	花見・外食・買い物	状況を見ながら

## VIII. 職員研修計画と活動

### (1) 定例研修・学習会

実施月	研修内容	主催
4月	令和6年事業計画書 法令遵守・モラルについて	施設長
5月	高齢者虐待防止（身体拘束含む）と不適切ケアについて	権利擁護委員会
6月	食中毒の予防および蔓延防止に関する事例検討	栄養士
7月	事故の発生またはその再発防止について	事故防止委員会
8月	高齢者の体調変化と観察、夜間緊急時の対応	看護師
9月	認知症に関する研修	介護マネージャー
10月	救命救急と緊急時の対応	介護マネージャー
11月	感染症の予防・蔓延防止に関する研修と事例検討	看護師
12月	高齢者の安全な食事に関する研修	栄養士
1月	介護保険法とケアプランについて	介護支援専門員
2月	褥瘡および看取りに関する研修	看護師
3月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	事故防止委員会
随時	介護技術などの勉強会	介護長

### (2) 会議

会議	出席者	開催頻度	主催
定例会	施設長、事務長、専門職 介護マネージャ・チーフ・ リーダー	第1木曜日	施設長
ケアトップ会議	施設長 介護マネージャ・チーフ	第2月曜日 第4木曜日	施設長
リーダー会議	介護マネージャ・チーフ リーダー	毎月	介護マネージャ
フロアー会議	介護マネージャ・チーフ 介護リーダー・スタッフ	毎月	介護リーダー
ナース会議	看護師、施設長、栄養士	毎日	看護
カンファレンス サービス担当者会議	介護マネージャ・チーフ 介護スタッフ（居担）、 栄養士、看護師、ご家族様	随時	介護支援専門員

## (2) 委員会

委員会	内容	開催日
入退所検討 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市の指針に合わせ希望者を選定する</li> <li>・面談を行い、面談シートを作成する</li> <li>・面談シートに基づき入所判定を行う</li> </ul>	1回/3ヵ月
事故再発防止 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した事故検討と再発防止の提案</li> <li>・事故の事例検討を行う</li> <li>・再発防止後の再評価を行う</li> </ul>	毎月
感染予防委員会 褥瘡予防委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒および感染症防止の検討</li> <li>・コロナウィルスなど感染症防止の啓発活動</li> <li>・褥瘡の予防に取り組み</li> </ul>	1回/3ヶ月
身体拘束廃止 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の尊厳ある生活をして頂くためにも安易な身体拘束をしないことを施設全体として取り組む</li> </ul>	毎月
権利擁護委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の権利擁護について話し合う</li> <li>・不適切ケアを予防する</li> <li>・意見が出やすいように投書箱を設置する</li> </ul>	1回/2ヵ月
防災防犯委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害BCPを継続する</li> <li>・年2回の避難訓練を実施</li> <li>・安心して働く環境づくり（防犯を含む）</li> </ul>	2回/年
排泄委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存機能を生かしておむつ・パットを軽減する</li> <li>・自然なお通じにつながるような支援を検討する</li> <li>・おむつのゴミ問題に取り組みSDGS活動に繋げる</li> </ul>	1回/2月
SDGS委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs活動を広める</li> <li>・排泄委員会とおむつゴミ問題に取り組む</li> <li>・SDGS17項目に取り組む</li> </ul>	1回/2ヶ月

## 《 みどりの丘が目指すもの 》

麻生区が男女共に長寿日本一の街となりました。  
この街の介護福祉施設としてどうあるべきか考えました。

昨年9月デイサービスの休止を決めました。  
デイ職員の退職があり人員の補充を特養からも可能でしたが、この地域には  
デイサービスが乱立しています。  
それに比べ多床室20床の大型ショートは川崎市北部ではみどりの丘だけです。  
みどりの丘のショートステイは地域のみなさんにとってはなくてはならない  
存在です。在宅介護の担っているご家族様の応援団としてショートステイを  
充実させる道を選びました。

10月よりショートご利用の方には、日中はデイルームを利用しデイのプログラ  
ムを中心に活動的に過ごして頂きます。  
夜間はショートエリアに戻ってお泊りになるという夢のようなショートステ  
イを始めました。半年が経ちデイのプログラムに加え、花や野菜を育てる、  
ひのき風呂にゆっくり入浴、映画や新聞雑誌を見ながらのんびり過ごすなど  
生活レクも加わりました。  
スマイル・ステイ・・・新たなショートの誕生です。

特養は来訪者の皆様から「入居者様は明るく元気ですね」と言われることが  
多く、お元気に楽しく暮らす姿が入居希望に繋がっています。  
このような施設の在り方により、かつてのボランティアさんや入居されてい  
たご家族様やご近所様、評判を聞いた方などみどりの丘の入居を強く希望さ  
れる方が多くなってきました。  
私たちが目指してきた「選ばれる施設」に近づいた証だと思っています。

長寿日本一の麻生区に  
夢のようなショートステイがあり  
誰もが入りたい施設がある

これがこの街の介護福祉施設すなわち『みどりの丘』のあるべき姿ではない  
でしょうか